

～たをえあい つながり 共に生きるまち 由布市～

第4期
由布市
地域福祉計画
地域福祉活動計画

2023(令和5)年度～2027(令和9)年度



令和5年3月

由布市

由布市社会福祉協議会

ごあいさつ

本市では、誰もが安心して暮らし続けるためお互いが尊厳を保ち、個々の能力を発揮でき、地域全体で支え、やさしいまちを目指すため「みんなでつくろう！誰もが安らげる福祉のまち 由布市」を基本理念に「第3期由布市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を平成30年3月に策定し、由布市社会福祉協議会とともに様々な施策を展開し、地域福祉の推進を図ってまいりました。



一方で、近年の地域福祉を取り巻く環境は、少子高齢化や本格的な人口減少社会の到来による社会構造の変化に加え、価値観やライフスタイルの多様化の影響により高齢の親が無就労の子の生計を支える8050問題、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもであるヤングケアラー、介護と育児に同時に直面するダブルケアなど、家族や地域が抱える課題は多様化、複雑化しております。さらには、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中で、地域での住民同士の交流やふれあい、人と人とのつながりの一層の希薄化が進んでおり、改めて私たち一人一人が「支え手側」と「受け手側」を区別することなく、それぞれが役割を持ち、福祉などの公的サービスと協働して支え合いながら暮らすことのできる社会の実現が求められています。

このような状況をふまえ、時代の変化に対応し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながり、誰もが住みやすい「地域共生社会」の実現に向けて、「第4期由布市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定いたしました。

本計画では「ささえあい つながり 共に生きるまち 由布市」を基本理念とし、本市と由布市社会福祉協議会が福祉の両輪となり、各種施策や取組みを積極的に推進してまいります。

また、本計画には「由布市成年後見制度利用促進基本計画」「由布市再犯防止推進計画」を一体的に策定しており、支援が必要な方への体制整備に取り組んでまいりますので、市民の皆様・関係各位のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たりご尽力いただきました由布市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会委員の皆様をはじめ、地域福祉に関するアンケートやパブリックコメントの実施に際し、貴重なご意見やご提案をいただきました市民の皆様・関係団体各位に深く感謝を申し上げます。

令和5年3月

由布市長 相馬 尊重

ごあいさつ

当協議会では、誰もが安心して暮らすことのできる「地域で暮らしを支える福祉の充実」の実現を目的に、平成30年3月に由布市とともに「第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定し、行政、関係機関・団体、市内社会福祉法人とともに地域福祉推進を図ってまいりました。



近年、生活を取り巻く社会状況や社会福祉制度は大きく変わり、住民の福祉課題はますます多様化し、少子高齢化や核家族化によるコミュニティの希薄化、生活困窮・孤立、障がいのある人や児童を取り巻く環境の変化といった様々な分野の福祉課題及び制度の狭間にある人への支援を考えていかなければならない状況は今後も続いていくと見込まれています。

また、新型コロナウイルスなどの感染症や毎年のように起きる災害により、生活再建を余儀なくされた方たちへの支援も引き続き取り組んでいかなければなりません。国が掲げる「地域共生社会の実現」は、「支えられる側」と「支える側」という枠組みを取り払い、地域のためにいかなる人も貢献する事ができ、人々がともにたすけあう事ができる地域づくりを目指しています。

これまで由布市社会福祉協議会では、由布市、多くの関係者・団体等と連携し、地域課題を解決すべく、「小地域ネットワークづくり」や「集いの場づくり」、「福祉相談体制・福祉サービスの充実」、「地域と連携した防犯・防災対策の推進」などの事業推進を行ってまいりました。

今回「第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定するにあたり、第3期の福祉計画・活動計画を継承しつつも新しい制度と市民要望に則した目的を改めて確認し、新しく「由布市成年後見制度利用促進基本計画」や「由布市再犯防止推進計画」を推し進め、社会福祉協議会の理念である市民と協働して「地域共生社会」を目指し、子どもから高齢者までの人々がともに助け合い、安全で安心して暮らすことができる温もりのあるまちづくりを目指します。

最後に本計画の策定にあたりまして、ご尽力いただきました策定委員会委員の皆様をはじめ、アンケート調査やパブリックコメント等に、ご協力いただきました市民の皆様に対し心から厚くお礼申し上げます。

令和5年3月

社会福祉法人 由布市社会福祉協議会 会長 大野 茂 喜

目次

第1章 計画策定にあたって	1
1. 計画策定の背景・趣旨	1
2. 国の地域福祉に関する動向	2
3. 地域福祉の目指すところ	4
4. 「自助」「互助」「共助」「公助」の役割	4
5. 計画の位置付け	5
(1) 「市町村地域福祉計画」の性格	5
(2) 「地域福祉活動計画」の性格	5
(3) その他包含する計画の位置付け	6
(4) 他計画との関係	9
6. 身近な圏域の考え方	10
7. 地域福祉を推進するための役割	10
8. 計画の期間	11
9. 計画策定の体制	12
(1) 計画策定委員会等の開催	12
(2) 市民意識調査・福祉関係団体等アンケート調査	12
(3) パブリックコメントの実施	12
10. 由布市の地域福祉における SDGs	13
第2章 由布市の地域福祉を取り巻く現状	14
1. 各種統計データから見る由布市	14
(1) 人口の状況	14
(2) 世帯の状況	17
(3) 要支援・要介護認定者の状況	20
(4) 障がいのある人の状況	21
(5) 生活困窮者の状況	21
(6) 地域の福祉資源の状況	22
2. 市民意識調査からみた地域福祉の状況	23
(1) 調査の概要	23
(2) 主な調査結果	23
3. 福祉関係団体等アンケートからみえてきた地域福祉課題	36
(1) 調査概要	36
(2) 主な調査結果	36

4. 第3期計画検証結果の総括	40
(1) 評価・検証の実施方法	40
(2) 全体総評.....	40
(3) 基本目標ごとの評価・検証結果.....	41
5. 第4期計画に向けての課題	44
(1) 地域コミュニティの維持と強化.....	44
(2) 福祉を支える担い手の確保と育成	44
(3) 複合化・複雑化する課題に対応できる仕組みづくり	45
(4) 安全・安心な暮らしを守る体制の構築	46
第3章 計画の基本方針	47
1. 基本理念.....	47
2. 基本目標.....	48
3. 地域共生社会の実現に向けた重点的な取組み.....	50
4. 重層的支援体制整備事業に向けた今後の方針.....	52
(1) 各事業の実施方針及び実施状況.....	53
5. 計画の体系	55
第4章 計画の取組み	56
基本目標1 支え合いの気持ちや地域の人材づくり	56
1 支え合い・思いやりの福祉意識づくり	56
2 地域を担う人材の育成・支援.....	58
3 地域福祉に関わる団体の活動促進.....	61
基本目標2 支え合いの仕組みづくり	63
1 自分らしく社会参加できる地域づくり	63
2 福祉をつなぐネットワークづくり	65
3 交流・福祉活動の場づくり.....	67
基本目標3 適切な支援につなぐ仕組みづくり	69
1 福祉情報提供の充実	69
2 包括的な相談支援体制の充実.....	71
3 福祉サービスの充実	73
4 支援を必要とする人への自立支援.....	76
5 犯罪をした人等の社会復帰支援（由布市再犯防止推進計画）	78
6 権利擁護体制の充実	80

基本目標 4 安全・安心なまちづくり	83
1 地域と連携した防犯・防災対策の推進.....	83
2 人にやさしい住環境の整備.....	86
第 5 章 由布市成年後見制度利用促進基本計画.....	88
1. 成年後見制度とは	88
2. 計画策定の背景	89
3. 本市における成年後見制度をめぐる現状.....	92
4. 目的・目標	94
5. 具体的な取組み	94
(1) 権利擁護支援の地域連携ネットワークの体制整備方針	94
(2) 中核機関及び協議会の整備・運営の方針.....	95
(3) 地域連携ネットワークの支援機能の段階的・計画的な整備方針	95
(4) 地域連携ネットワークの機能を強化するための取組み	97
(5) 市長申立ての適切な実施と成年後見制度利用支援事業の推進の方針.....	98
6. 成年後見制度の利用促進に関する事項の調査・検討をする体制整備.....	98
第 6 章 計画の推進に向けて	99
1. 市民との協働.....	99
2. 市と社会福祉協議会との連携.....	99
3. 計画の進捗管理	99
4. 計画の周知	99
資料編	100
1. 計画の策定経過	100
2. 由布市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会設置要綱.....	101
3. 由布市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会委員名簿.....	103
4. 福祉関係団体等アンケート回答団体.....	104
5. 用語解説.....	105